

山岳信仰の霊山と宿坊のお泊まり 七面山

実施日 2013年6月16日(日)～17日(月)
 天候 まあ晴れ
 リーダー 若村 勝昭
 S L 伊藤 久雄
 参加者 若村貴世子、若村勝昭、石附智江、伊藤久雄、宇野輝代、石附恵理子 計6名計名
 費用 高尾⇒身延(JR)約3,000円 タクシー 往復3,000円
 宿泊費 5,200円
 タイム 16日 羽衣表参道登山口(11:00)～途中1丁目から49丁目まで経由 敬慎院(15:40)泊
 17日 敬慎院(6:00)七面山頂(7:00～7:20)～敬慎院(8:00)奥の院(8:30)～40丁目から0丁目まで経由角瀬裏参道入り口(12:00タクシー) 下部温泉駅(12:30)

16日 最近、パワースポット充満の山として評判です。

東京出発の時は雨でしたが、次第に弱くなり、登山口では曇り空。



樹林の参道をゆっくり登る。入り口から1丁目、2丁目の標柱石が立ち、数字の増

えるたびゴールが近くなる。他の登山者はお参りの女性2名のみ。

樹林帯の中なので、見晴らしはなく単調な登り。やがて大



きな山門をくぐり今日の宿坊。数人の男衆のお出迎えを受け、20畳敷の部屋へ入る。こぶし会様貸切。すぐに入浴して汗を流す。

今夜の予定は、5時夕食、6時半ご本尊様御開帳の儀、7時



夕べのお勤め、持仏堂拝観、9時消灯。

夕食は部屋で、お膳。煮物（高野豆腐、ジャガイモ、昆布巻き、ニンジン）、ヒジキ煮、大根の漬物とお代わり自由のお味噌汁（肉厚ワカメ入り）と炊き立てご飯。1汁2菜。見事に精進オンリー。でも味噌汁の出汁はしじみではないかと、シミジミ味見する。すると豊かな滋味を感じる（この行は韻を踏んでいます。念のため）。

その後は、本堂で敬虔な祈りの時間。ご本尊様御開帳では一人ひとりの名前と身体健全、家内安全、財運隆盛、子孫繁栄、良縁成就、宝籤当選、恋愛到来、美女来襲、会社繁栄、商売繁盛、登山安全、交通安全、安産出産、子宝授与、夫婦円満、父親仕事、妻君留守、小遣増額、当会隆盛、夏山無事、子供幸福が祈願され、お札を授かりました。

部屋に帰ると、既に布団が敷かれて旅館並み。ただし、布団は10人寝られる1枚もの。そこに3人ずつゆっくり寝た。

17日 4時起床、4時半から本堂で朝のお勤め。迫力ある読経と腹に響く太鼓の音に眠気も失せる。



朝食は切干大根煮物、昆布佃煮、キウリ漬物とみそ汁、ご飯。支度をして

大勢のお坊さんが玄関でお見送り、お餅とキャンデーをいただく。

七面山頂上へも樹林の路。1時間



で頂上に立つが、眺望は木々と霧の中。

しかし、空に向かって

手を広げパワーをいただく。

下山路は裏参道で、まずは奥の院。ここにある影響石(ようごうせき)の大岩を左回り7回まわれば願いがかなう。

昨夜同宿の男性は、4年はかかる願いが、こ



この岩に願った結果2週間で叶った、今回はそのお礼まいりとのこと。われわれもこぶし会の繁栄と安全登山を祈って7周する。もちろん、ここもパワースポット。

裏参道は、奥の院の40丁目から始まり、0丁目まで次第に数字が少なくなるのが楽しみ。途中、大きな栃の大木の下を通る。ここもパ

ワースポット。

途中、10丁目からヒル厳戒地域へ突入。ところどころにある塩水スプレーを足元にかけて早足で下る。この時ばかりは疲れと足痛を忘れる。

しかし、下山口で点検すると、足元に数匹の



ヒルが取り付いている。悲鳴を上げ除去。昨日は1名が咬まれ、小さな傷口だがいつまでも出血が止まらなかった。

今日は幸い実害はなかったが、スパッツ、靴下、ズボンの裏側、タイツなどに取り付いていた。これからの、中低山にはヒル対策必須と自覚した。



下山口からジャンボタクシーで下部温泉会館へ。ジャボン(ここも

韻踏む。

念のため)と浸かった後はビールで乾杯、ごくろうさま。

(記・若村 勝昭)
(写真提供・伊藤 久雄)

